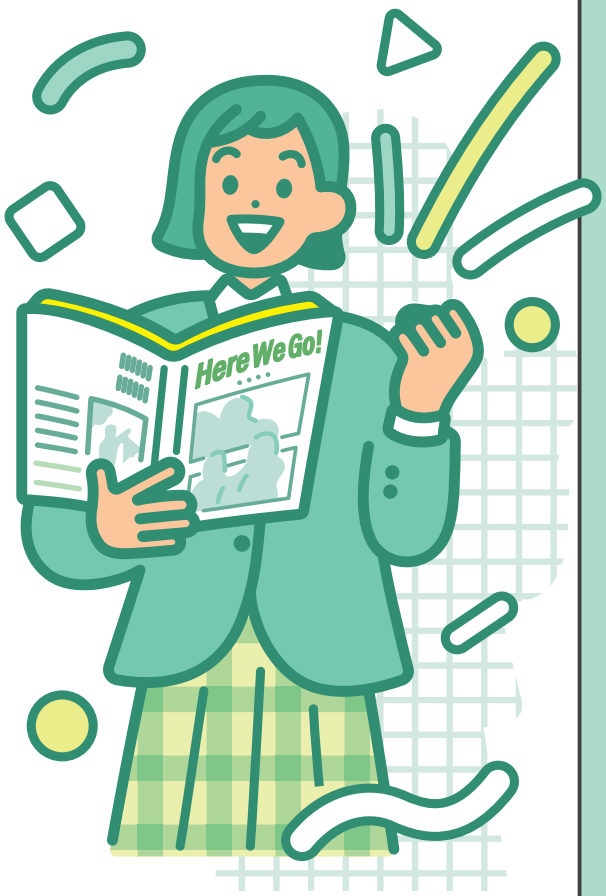
新版の特色 1

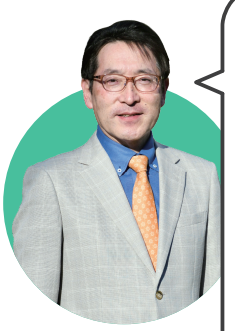
英語を使う力がつく

〔新しい教科書の構造と系統〕



POINT

生徒にたくさん英語を使わせる
全体構成は現行版そのままに、
「くり返し触れ、くり返し活用すること」
の観点で各単元の構造や系統を整理し、
より着実に英語を使う力が身につくようにしました。



「活用できる知識」の定着のために、くり返しが大切です。

向後 秀明 編集委員／敬愛大学教授

中学校英語において、文法事項や語彙の指導はとても大切です。その上で先生方にお伝えしたいのは、文法や語彙を、実際の場面で活用できる知識として定着させる指導の重要性です。2023年度実施の全国学力・学習状況調査（学テ）の結果などからは、アウトプットに使える文法や語彙が少ないことが明らかになりました。

ポイントは、①言語材料はその「使用場面」「働き」を結びつけて指導すること、②使用する言語材料が提示されない状況でも①での学びを生かしてくり返し言語活動を行うことです。

新版教科書では、より①②を推進するため、「くり返し」をキーワードに徹底的にシラバスを見直し、活動や紙面を再構成しました。

第二言語習得の理論に沿って、くり返し英語を使いながら学び、
「できるようになること」に向かって学習・指導を改善する

Unit

1年間の学習の軸となる単元です。豊富なインプットから少しずつアウトプットに進む、
第二言語習得の理論に沿った学習の流れを紙面化しています。
Unitの途中に、到達目標を特に意識したヒントを示し、学習・指導の改善をしやすくしました。

扉 第1時

- 単元の話題について話す
- 本文全体を聞き、話の大筋をつかむ

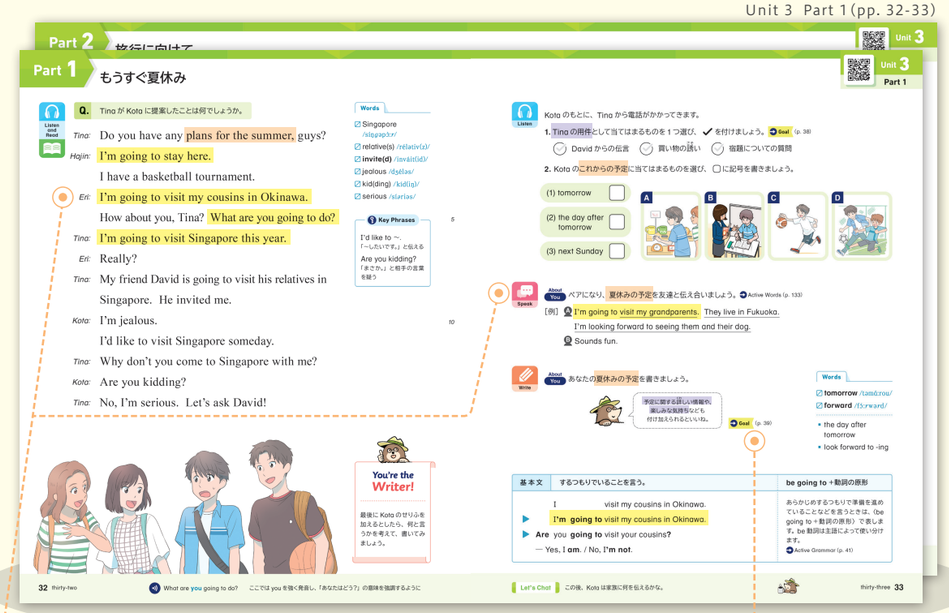
2年 Unit 3 扉(p. 31)



Part 第2～7時※1

- 目的に応じて本文を読んだり、詳細を理解したりする
- 本文の発音と綴りを一致させ、音読する
- 場面に沿って、基本文を使う練習をする

Unit 3 Part 1(pp. 32-33)



Goal 第8～9時※2

Goal ふり返り
- CAN-DO メールの用件や、返事が必要なことを読み取ることができる。
- CAN-DO 用件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。

- 単元の目標に応じた言語活動に取り組む
- 単元の学習をふり返る

Unit 3 Goal(pp. 38-39)



“教科書を行ったり来たり”しながら、スパイラルに学びます

ポイント1 ページ左側のストーリーと、右側の活動とで、「使用場面」「働き」が一致した基本文を、くり返し練習

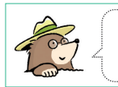
be going to の形と「予定を伝える」という働きがしっかりと結びつきます。

Tina: Do you have any plans for the summer, guys?
Hajin: I'm going to stay here.
I have a basketball tournament.

⟷ 一致

Speak About You ペアになり、夏休みの予定を友達と伝え合いましょう。 Active Words
[例] I'm going to visit my grandparents. They live in Fukuoka.

NEW ポイント2 Goalにつながるヒントで、学習・指導改善をしやすく



Goal (p. 39)

いつもの本文読解や基本文を使う練習に、Goalへの足場をかける活動をプラスします。

NEW ポイント3 目的・場面・状況や、「中間ふり返り」のヒントを明示

目的・場面・状況

Idea Hunt
p. 34 の David のメールもふり返ってみよう。
詳しくは本書 p. 21

2 伝える内容や書き方を見直そう
- 用件が伝わるメールになるように、伝えたいことを整理できているかな。
- メールを受け取った David に、楽しみな気持ちが伝わるかな。

「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」につながり、3観点での評価もしやすくなります。

※1 Partの数は、1Unitあたり3つ（第2～7時で扱うこと）を基本としていますが、例外的に2つまたは4つのPartから成るUnitがあります。
※2 Goalは、2時間構成を基本としていますが、1年Unit 1～3は1時間構成にして、学習の負荷を下げています。

くり返し学んだことを生かして取り組む「まとめの活動」で、
到達目標の達成度合いを見取る

You Can Do It!

各学年３か所に、Unitで学んだことを生かして取り組むことができる、
まとめの活動を設定しています。「記録に残す評価」を行うことを想定して、
紙面やQRコンテンツに、さまざまな工夫を施しました。

〔 You Can Do It! と重点化領域一覧 〕

学年	単元	単元のまとまりごとの目標	You Can Do It! 活動タイトル	重点化領域
1年	Unit 1～3 ▶ You Can Do It! 1	自分のことを伝え、相手のことをよく知る	友達の新しい一面を見つけよう	
	Unit 4～6 ▶ You Can Do It! 2	身近な人のことを紹介する	ゲストの魅力を伝えるMC になろう	
	Unit 7～8 ▶ You Can Do It! 3	イベントや学校を紹介する	動画で学校の魅力を紹介しよう	
2年	Unit 1～3 ▶ You Can Do It! 1	相手に合うプランを提案する	「わが町観光プラン」をおすすめしよう	
	Unit 4～6 ▶ You Can Do It! 2	自分の意見や考えを伝える	誰もが楽しめるイベントを提案しよう	
	Unit 7～8 ▶ You Can Do It! 3	説明や描写をする	かるたで地域のPR をしよう	
3年	Unit 1～3 ▶ You Can Do It! 1	話し合いの中で意見をまとめる	学校生活について意見をまとめよう	
	Unit 4～6 ▶ You Can Do It! 2	情報をもとに考えを整理して伝える	持続可能な社会に向けリポートしよう	
	Unit 7～8 ▶ You Can Do It! 3	大切な人や自分に宛てて気持ちを表現する	自分たちのこれからに言葉を贈ろう	

学びがつながる！

Here We Go! を使った指導計画
〈2年4～7月を例に〉

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
自分の予定や希望、考えなどを、学習してきた文を用いて伝え合う。	Unit 1 ●KotaやTinaの日記を読み、おおまかな内容や共通点を捉える。 ●出来事や感想などが詳しく伝わるように日記を書く。
	Unit 2 ●友達の話から、希望や大切なことなど、企画に必要な情報を聞き取る。 ●企画への希望や意見を詳しく聞き出したり、考えを詳しく伝えたりする。
	Unit 3 ●メールの用件や、返事が必要なことを読み取る。 ●用件や気持ちが伝わるように、伝えたい情報を整理して、メールの返事を書く。

You Can Do It! 1

留学生２人がいっしょに楽しむことができる観光プランを提案するために、留学生の自己紹介文からそれぞれの興味・関心や２人の共通点などの必要な情報を読み取り、伝えたい情報を整理して、考えたプランを書く。

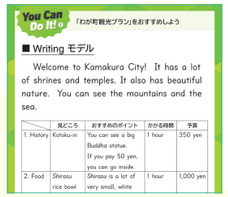


2年 You Can Do It! 1（pp. 46-47）

NEW

ポイント1 Writingモデル／Speakingモデル

テンプレートに頼らない思考力・判断力・表現力を育成するため、紙面にはアウトプットのモデルとなる文章を掲載していません。代わりに、生徒が個別に参照できるモデルをQRコンテンツとして用意し、活動の助けになるようにしました。



Writingモデル



2年 You Can Do It! 2 Speakingモデル（QRコンテンツ）

NEW

ポイント2 テストにトライ！



テストにトライ！

▶詳しくは本書 p. 33

NEW

ポイント3 Look Back

特につながりの強いUnitを示し、既習の内容をまとめの活動に生かしやすくしました。

Look Back

COLUMN

新たな価値を生み出す人に

多様化、複雑化する現代社会。子どもたちは、答えが一つに決まらない問いにも向き合っていかなくてはなりません。だからこそ、他者の知恵を借りたり、協働したりする力が必要です。言葉を通して人とつながり、新たな時代の価値を創造できるように、豊かな感性とコミュニケーション能力を育む言語活動を充実させました。

2年 You Can Do It! 2（pp. 86-87）

ポイント4 学期のふり返りと評価について

You Can Do It! の活動目標は、各学期に設定された目標と対応しています。紙面で示されているのは、生徒のためのチェック欄ですが、指導書では、３観点の評価の参考となる単元ごとのルーブリックなど、先生をサポートする資料を用意しています。

評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	誤りの少ない適切な英語で自分の学校を紹介することができる。	学校の魅力について、聞き手を意識して内容を整理し、より詳しく具体的に紹介している。	学校の魅力について、聞き手を意識して内容を整理し、より詳しく具体的に紹介しようとしている。
B	コミュニケーションに支障をきたす重大な誤りはない英語で、自分の学校を紹介することができる。	学校の魅力について、聞き手に伝わるように具体的に紹介している。	学校の魅力について、聞き手に伝わるように具体的に紹介しようとしている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。

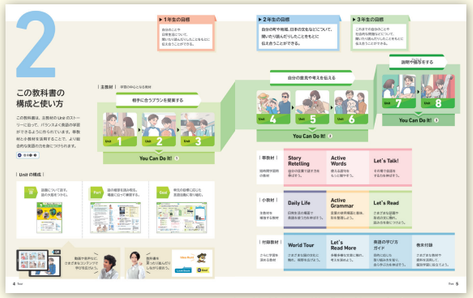
1年 You Can Do It! 3 ルーブリック例（指導書付属データ）

学年で「できるようになること」と学びの過程を明確に

教科書の構成と使い方 / CAN-DO List

巻頭「この教科書の構成と使い方」、
巻末「2年生ではどんなことをするのかな。」「CAN-DO List」で、
学年全体の目標と現在地がわかります。
また、目標に到達するまでの過程やこの先の成長イメージなど、
見通しをもって学習を進めることができます。

3学年の学びが見通せる CAN-DO Listはこちら



2年 教科書の構成と使い方（pp. 4-5）



2年「2年生ではどんなことをするのかな。」（後見返し1）

CAN-DO List

2年の目標 自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

あなたはどのくらいできる？ ○で囲んでみよう　まだ難しい / 助けがあればできる / できる / 自信をもってできる

年に何度かはここに戻り、自分がどのくらいできるようになっているのかを自己評価して、次の目標を立てよう。

		領域別の到達目標（CAN-DO）	相手に合うプランを提案することができる					自分の意見や考えを伝えることができる					説明や描写をすることができる					2年の自己評価
			Unit 1	Unit 2	Unit 3	You Can Do It! 1	自己評価	Unit 4	Unit 5	Unit 6	You Can Do It! 2	自己評価	Unit 7	Unit 8	You Can Do It! 3	自己評価		
Listen 聞く	L-1	日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	Unit 各 Part	Goal	Daily Life 3				Goal	Unit 各 Part	You Can Do It!		Unit 各 Part					
	L-2	日常的な話題を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。	Unit 扉	Daily Life 2				Unit 扉					Goal	Unit 扉	You Can Do It!			
	L-3	日常的な話題や社会的な話題を聞いて、要点を捉えることができる。											Goal					
Read 読む	R-1	日常的な話題について書かれた文章から、必要な情報を読み取ることができる。			Goal	You Can Do It!		Goal					Daily Life 7					
	R-2	日常的な話題について書かれた文章を読んで、おおまかな内容を捉えることができる。	Goal		Let's Read 1					Goal	Let's Read 2			Goal	Let's Read 3			
	R-3	日常的な話題や社会的な話題について書かれた文章を読んで、要点を捉えることができる。													Let's Read 3			
Speak 話す（やり取り）	SI-1	自分のことや興味のあることについて、その場で質問したり、伝え合ったりすることができる。	Unit 各 Part	Goal				Unit 各 Part					Unit 各 Part					
			Let's Talk!（帯教材）					Let's Talk!					Let's Talk!					
	SI-2	ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、やり取りすることができる。	Daily Life 1		Daily Life 4				Goal				Goal		You Can Do It!			
									Daily Life 5, 6									
Speak 話す（発表）	SP-1	自分のことや興味のあることについて、その場で話すことができる。	Unit 各 Part					Unit 各 Part					Unit 各 Part					
	SP-2	ストーリーや日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、まとまりのある内容を話すことができる。	Story Retelling（帯教材）						Goal									
								Story Retelling			You Can Do It!		Story Retelling					
Write 書く	W-1	自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、正確に書くことができる。	Goal					Unit 各 Part					Unit 各 Part					
			Unit 各 Part															
	W-2	日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。			Goal	You Can Do It!				Goal				Goal				

3年の目標 これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。

2–3

2年 CAN-DO List（後見返し2-3）

NEW ポイント1

領域別の到達目標

その学年の目標の到達度を折に触れて自己評価し、次の学びにつなげることができます。

NEW ポイント2

重点化領域の設定

単元ごとに、重点的に指導と評価を一体的に行っていただきたい領域を設定しました。先生方の評価の負担を軽減しながら、単元のまとまりや学年で、バランスよく５つの領域の力を育成できます。



2年 目次（p. 2）

NEW ポイント3

継続して行いたい活動を見える化

毎Unitで行う活動や、帯活動で継続的に扱いたい教材（帯教材）の位置付けを、明確にしました。